

県民健康調査「甲状腺検査【25歳時の節目の検査】」実施状況

令和3年3月31日現在

I 調査概要

1. 対象者

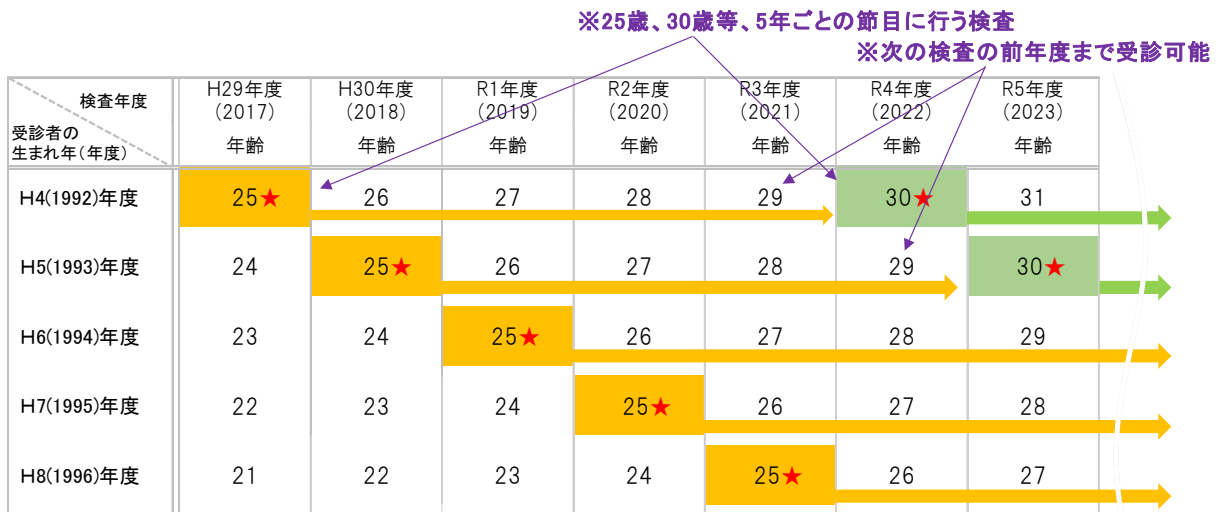
震災時福島県にお住まいの概ね18歳以下であった全県民（平成4年4月2日から平成24年4月1日までに生まれた福島県民）のうち、各年度25歳を迎える方に検査を実施している。なお、本資料では下記の方について報告を行う。

- ・平成4年度（平成4年4月2日から平成5年4月1日）生まれの方
- ・平成5年度（平成5年4月2日から平成6年4月1日）生まれの方
- ・平成6年度（平成6年4月2日から平成7年4月1日）生まれの方
- ・平成7年度（平成7年4月2日から平成8年4月1日）生まれの方

2. 実施期間

平成29年度から25歳時の節目の検査を開始し、各年度25歳を迎える方に検査を行う。なお、25歳を迎える年に受診できなかった方については、次回の30歳時の節目の検査の前年度まで検査を受診できる（25歳時の節目の検査実施スケジュールは図1のとおり）。

図1. 25歳時の節目の検査実施スケジュール



- ・今後、各年度25歳を迎える対象者に対し検査を実施する。
- ・各年度★の年齢（学年）ごとに検査のお知らせを発送する。

Ⅱ 25歳時の節目の検査結果概要（令和3年3月31日現在）

1. 一次検査結果

（1）一次検査実施状況

平成29年5月から検査を開始し、各年度に年齢が25歳を迎える方（平成4年度～平成7年度生まれ）を対象として、7,621人（8.7%）の検査を実施した。

そのうち、7,260人（95.3%）の受診者について検査結果が確定し、結果通知を発送した。

検査結果はA1判定の方が3,102人（42.7%）、A2判定の方が3,799人（52.3%）、B判定の方が359人（4.9%）、C判定の方は0人であった。

表1.一次検査進捗状況

	対象者数 (人) ア	受診者数(人)		判定率 (%) ウ(ウ/イ)	結果判定数(人)				
		受診率 (%) イ(イ/ア)	うち県外 受診		判定区分別内訳(割合(%))				
					A		二次検査対象者		
					A1 エ(エ/ウ)	A2 オ(オ/ウ)	B カ(カ/ウ)	C キ(キ/ウ)	
平成4年度生まれ 対象者	22,653	2,293 (10.1)	737	2,281 (99.5)	955 (41.9)	1,225 (53.7)	101 (4.4)	0 (0.0)	
平成5年度生まれ 対象者	21,890	2,198 (10.0)	792	2,193 (99.8)	990 (45.1)	1,096 (50.0)	107 (4.9)	0 (0.0)	
平成6年度生まれ 対象者	22,095	1,636 (7.4)	596	1,595 (97.5)	667 (41.8)	841 (52.7)	87 (5.5)	0 (0.0)	
平成7年度生まれ 対象者	21,056	1,494 (7.1)	382	1,191 (79.7)	490 (41.1)	637 (53.5)	64 (5.4)	0 (0.0)	
合計	87,694	7,621 (8.7)	2,507	7,260 (95.3)	3,102 (42.7)	3,799 (52.3)	359 (4.9)	0 (0.0)	

表2.結節・のう胞の人数・割合（詳細は別表1のとおり）

	結果判定数(人) ア	アに対する結節・のう胞の人数(割合(%))			
		結節		のう胞	
		5.1mm以上 イ(イ/ア)	5.0mm以下 ウ(ウ/ア)	20.1mm以上 エ(エ/ア)	20.0mm以下 オ(オ/ア)
平成4年度生まれ 対象者	2,281	100 (4.4)	48 (2.1)	1 (0.0)	1,271 (55.7)
平成5年度生まれ 対象者	2,193	107 (4.9)	38 (1.7)	0 (0.0)	1,142 (52.1)
平成6年度生まれ 対象者	1,595	87 (5.5)	33 (2.1)	0 (0.0)	890 (55.8)
平成7年度生まれ 対象者	1,191	63 (5.3)	20 (1.7)	1 (0.1)	669 (56.2)
合計	7,260	357 (4.9)	139 (1.9)	2 (0.0)	3,972 (54.7)

- ・ 小数で表示されている数値は、その下の位で四捨五入している。以降の表も同様である。
- ・ 25歳時の節目に検査を行う対象者及び受診者については、今後、各年度分を追加して計上する。

(2) 前回検査結果との比較

25歳時の節目の検査を受診した方の前回結果との比較については、表3のとおり。

前回検査でA判定（A1及びA2判定）と判断された4,507人のうち、25歳時の節目の検査でA判定（A1及びA2判定）は4,395人（97.5%）、B判定は112人（2.5%）であった。

また、前回検査でB判定と判断された151人のうち、25歳時の節目の検査でA判定（A1及びA2判定）は41人（27.2%）、B判定は110人（72.8%）であった。

表3.前回検査結果との比較

		前回検査結果 計 注1	25歳の節目の検査結果内訳 注2				
			A		B	C	
			A1 イ (イ/ア)	A2 ウ (ウ/ア)			エ (エ/ア)
前回 検査 結果	A	ア					
		A1	1,803 (100.0)	1,471 (81.6)	316 (17.5)	16 (0.9)	0 (0.0)
		A2	2,704 (100.0)	440 (16.3)	2,168 (80.2)	96 (3.6)	0 (0.0)
		B	151 (100.0)	4 (2.6)	37 (24.5)	110 (72.8)	0 (0.0)
		C	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)
	受診なし	2,602 (100.0)	1,187 (45.6)	1,278 (49.1)	137 (5.3)	0 (0.0)	
	計	7,260 (100.0)	3,102 (42.7)	3,799 (52.3)	359 (4.9)	0 (0.0)	

注1 上段は25歳時の節目の検査結果確定者の前回検査結果（人）。

注2 上段は前回検査結果に対する25歳時の節目の検査結果内訳（人）。下段は割合（%）。

2. 二次検査結果

(1) 二次検査実施状況

対象者 359 人のうち 239 人 (66.6%) が受診し、そのうち 227 人 (95.0%) が二次検査を終了した (地域別二次検査実施状況は別表 5 のとおり)。

その 227 人のうち、詳細な検査の結果、17 人 (A1 相当の 1 人と A2 相当の 16 人) (7.5%) は、一次検査基準で A1、A2 の範囲内であることが確認された (甲状腺に疾病のある方を含む)。210 人 (92.5%) は A1・A2 相当以外と確認された。

表 4. 二次検査進捗状況

	対象者数 (人)	受診者数(人) 受診率 (%)	結果確定数(人)				
			確定率 (%)	A1相当	A2相当	A1・A2相当以外	
						うち細胞診受診者	
ア	イ(イ/ア)	ウ(ウ/イ)	エ(エ/ウ)	オ(オ/ウ)	カ(カ/ウ)	キ(キ/カ)	
平成4年度生まれ 対象者	101	82 (81.2)	79 (96.3)	0 (0.0)	3 (3.8)	76 (96.2)	8 (10.5)
平成5年度生まれ 対象者	107	88 (82.2)	86 (97.7)	0 (0.0)	7 (8.1)	79 (91.9)	6 (7.6)
平成6年度生まれ 対象者	87	65 (74.7)	62 (95.4)	1 (1.6)	6 (9.7)	55 (88.7)	3 (5.5)
平成7年度生まれ 対象者	64	4 (6.3)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)
合計	359	239 (66.6)	227 (95.0)	1 (0.4)	16 (7.0)	210 (92.5)	17 (8.1)

(2) 細胞診等結果

穿刺吸引細胞診を実施した方のうち、9 人が悪性ないし悪性疑いの判定となった。

9 人の性別は男性 2 人、女性 7 人であった。また、二次検査時点での年齢は 24 歳から 27 歳 (平均年齢は 25.2±0.8 歳)、腫瘍の大きさは 9.4 mm から 49.9 mm (平均腫瘍径は 20.2±14.4 mm) であった。

なお、9 人の前回検査の結果は、A2 判定が 1 人、B 判定が 2 人、未受診が 6 人であった。

表 5. 細胞診結果 (平均年齢と平均腫瘍径の () 内は範囲を示す)

25 歳時の節目の検査対象者	
・悪性ないし悪性疑い	9 人 注
・男性：女性	2 人：7 人
・平均年齢	25.2±0.8 歳 (24-27 歳)、震災当時 17.0±0.7 歳 (16-18 歳)
・平均腫瘍径	20.2±14.4 mm (9.4-49.9 mm)

注 手術症例については別表 2 のとおり。

3. こころのケア・サポート

(1) 一次検査におけるサポートについて

平成29年4月から公共施設等の一般会場での一次検査では検査結果説明ブースを設置し、検査終了後、医師が超音波画像を提示しながら、結果を説明している。令和3年3月31日現在で、検査結果説明ブースを利用した方は受診者601人のうち600人(99.8%)であった。

(2) 二次検査におけるサポートについて

福島県立医科大学内にサポートチームを立ち上げ、二次検査対象者に対して、心配や不安へのこころのケア・サポートを行い、その他WEB相談による質問・相談を受け付けるなどの対応を行っている。

なお、25歳時の節目の検査開始以降、令和3年3月31日現在で、80人のサポートをしており、性別は男性19人、女性61人であった。この方々に延べ155回の相談対応等をしており、その内訳は初回受診時80回(51.6%)、2回目以降受診時75回(48.4%)であった。

また、保険診療移行後についても病院のチームと連携し、継続して支援を行っている。

別表 1

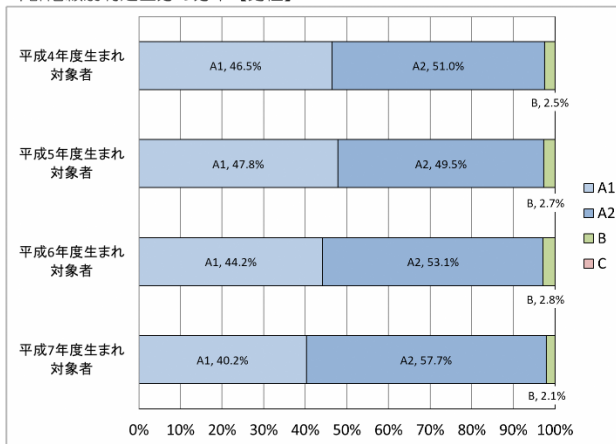
1 検査結果確定者の性別

(単位 人)

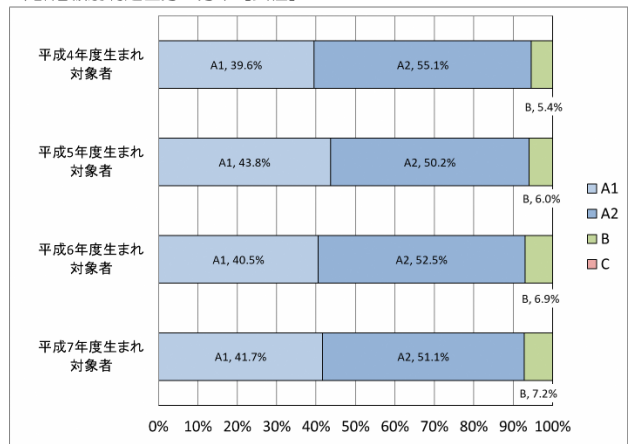
令和3年3月31日現在

判定・性別 対象者	A						B			C			合計		
	A1			A2			男性	女性	計	男性	女性	計	男性	女性	計
	男性	女性	計	男性	女性	計									
平成4年度生まれ対象者	353	602	955	387	838	1,225	19	82	101	0	0	0	759	1,522	2,281
平成5年度生まれ対象者	356	634	990	368	728	1,096	20	87	107	0	0	0	744	1,449	2,193
平成6年度生まれ対象者	253	414	667	304	537	841	16	71	87	0	0	0	573	1,022	1,595
平成7年度生まれ対象者	173	317	490	248	389	637	9	55	64	0	0	0	430	761	1,191
合計	1,135	1,967	3,102	1,307	2,492	3,799	64	295	359	0	0	0	2,506	4,754	7,260

年齢階級別判定区分の分布【男性】



年齢階級別判定区分の分布【女性】

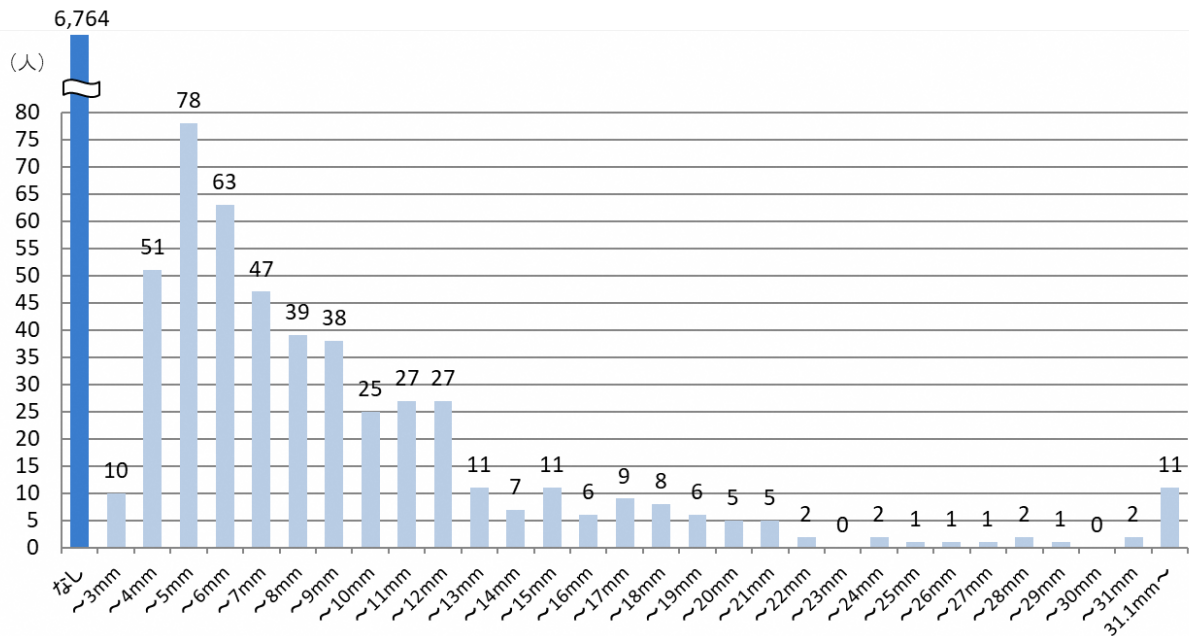
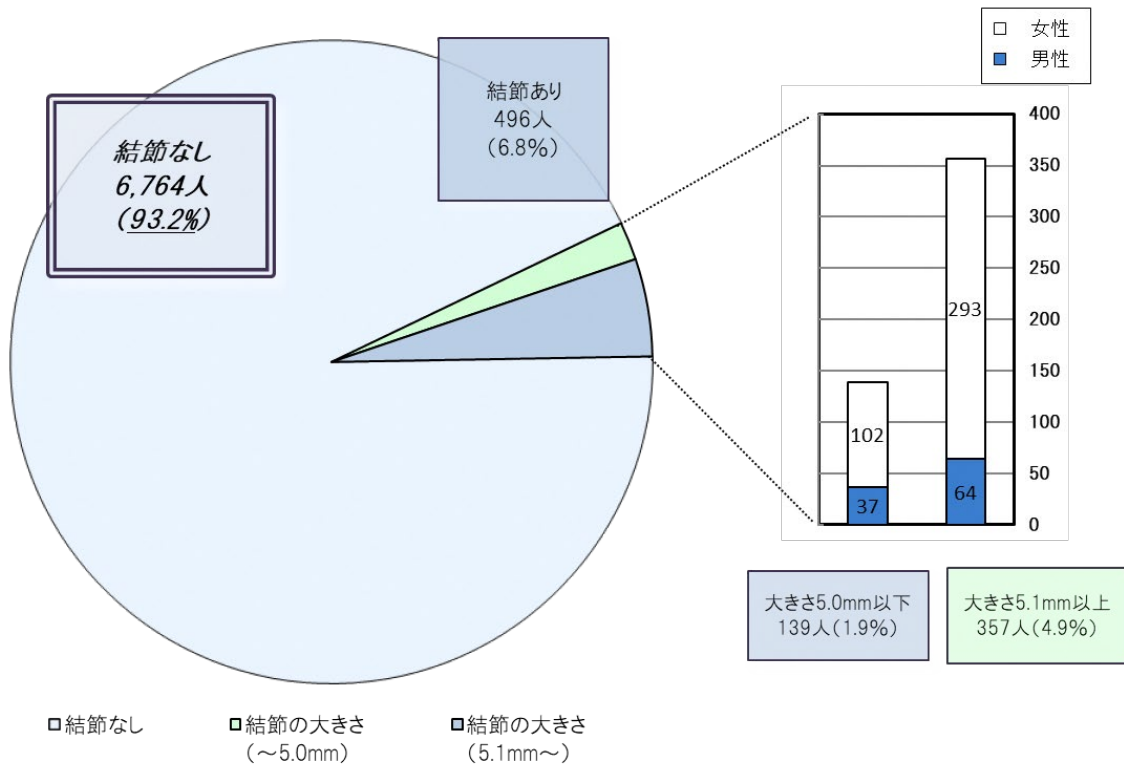


2 結節の有無及び大きさ

(単位 人)

令和3年3月31日現在

結節の有無・大きさ	全体		判定区分	割合
	男性	女性		
なし	6,764	2,405	A1	93.2%
～3.0mm	10	2	A2	1.9%
3.1～5.0mm	129	35		
5.1～10.0mm	212	38	B	4.9%
10.1～15.0mm	83	18		
15.1～20.0mm	34	4		
20.1～25.0mm	10	3		
25.1mm～	18	1		
計	7,260	2,506		

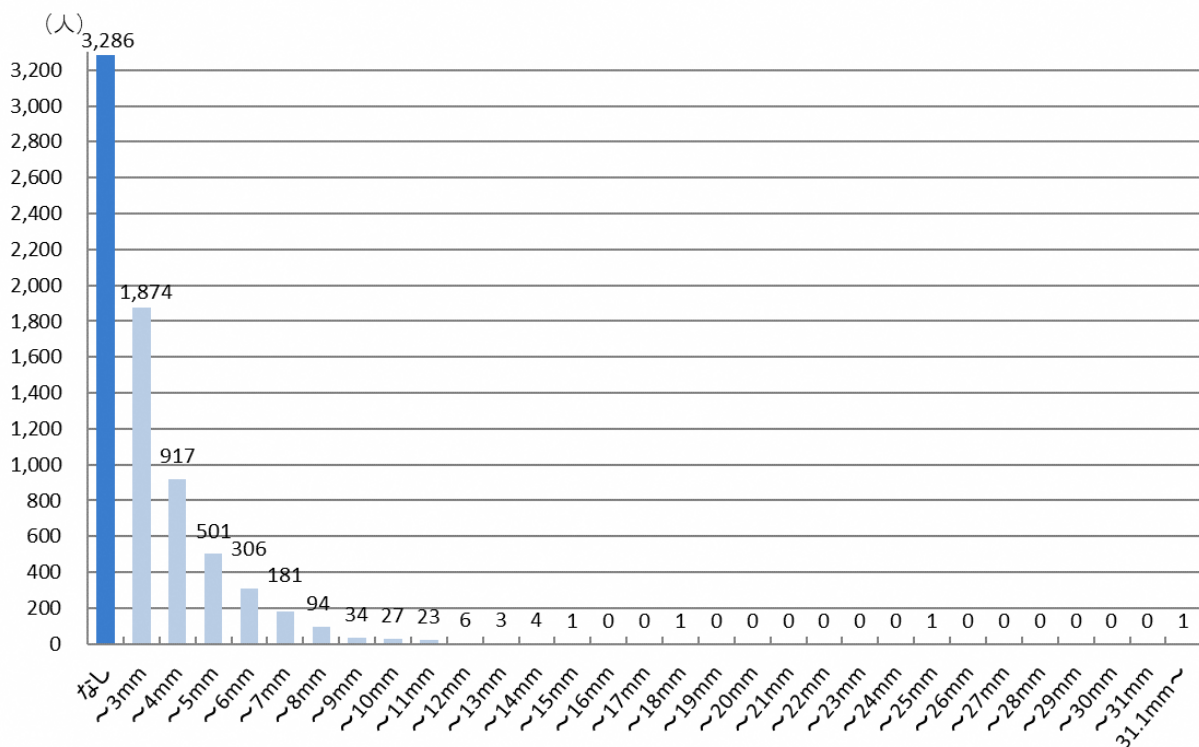
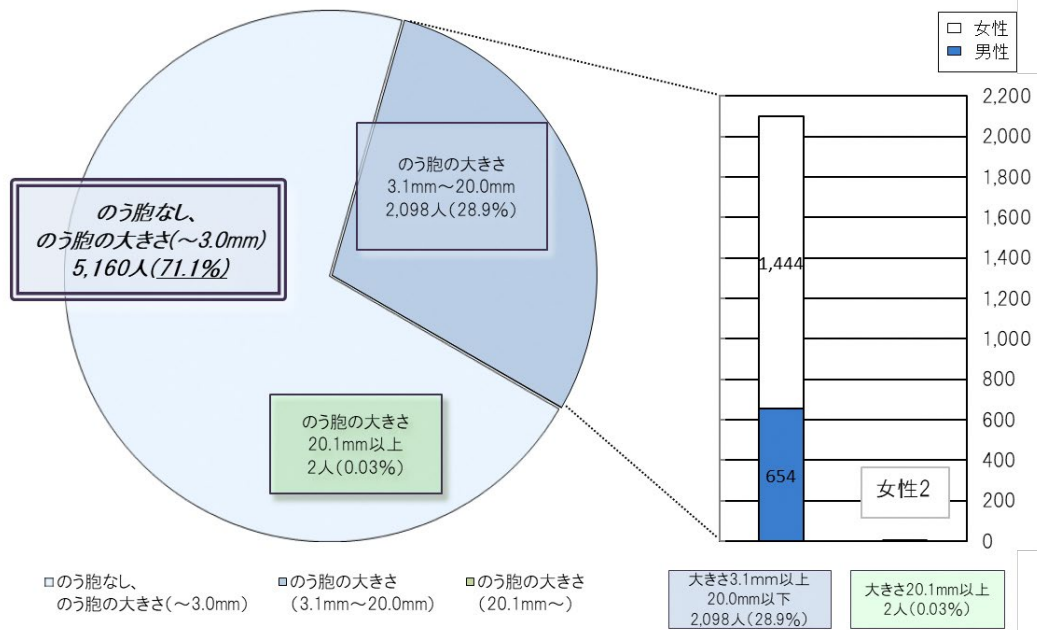


3 のう胞の有無及び大きさ

(単位 人)

令和3年3月31日現在

のう胞の有無・大きさ	全体		判定区分	割合
	男性	女性		
なし	3,286	1,183	A1	71.1%
～3.0mm	1,874	669	A2	
3.1～5.0mm	1,418	472		
5.1～10.0mm	642	175		467
10.1～15.0mm	37	6		31
15.1～20.0mm	1	1	0	28.9%
20.1～25.0mm	1	0	1	
25.1mm～	1	0	1	
計	7,260	2,506	4,754	0.03%



別表 2

悪性ないし悪性疑い者の手術症例

25 歳時の節目の検査対象者

- ・悪性ないし悪性疑い 9 人（手術実施 6 人：乳頭癌 5 人、濾胞癌 1 人）